

江戸川消防団

ホームページアドレス <http://www13.plala.or.jp/efvo/>

編集・発行

江戸川消防団広報委員会
第2号
平成20年10月1日

事務局
江戸川消防署防災係
電話(3656)1555

平成20年度消防操法大会 優勝第8分団!



今回の優勝分団は東京都大会に出場するということもあり、当日に先駆け四月二十七日(日)に行われた事前説明会では細部にわたる審査上の注意の徹底が促され、各分団の出場選手は真剣に説明を聞いておりました。今年の大会は、例年二隊が交互に行っていた操法を一隊ずつ行うなど、選手一人ひとりの動きがよく見えるよう工夫して行われました。

五月二十五日(日)江戸川消防団恒例の消防操法大会が江戸川清掃工場敷地内で行われました。今回の大会は十一月に行われる東京都大会の予選も兼ねており、各分団とも力のこもった演技が披露されました。その結果優勝第八分団、準優勝第五分団、第三位第六分団となりました。当日は未明から雨でしたが、大会が始まる午後一時までには天気も回復し、多くの来賓や各地域の町会、自治会の関係者の方また多くの消防団OBの方にも応援に来ていただきました。

大会終了後、審査長の中島警防課長から、「今大会は、都大会に準じた厳しい審査基準で審査を行ったが、どの分団も差はなかった。」と審査結果が発表され、田名部江戸川消防署長からは、「優勝した第八分団には都大会でも頑張ってもらいたい。また、平素の災害活動はもとより、中国四川省の大地震のような自然災害に備え、今後もポンプの点検、訓練を怠らないようにお願いします。」との講評がありました。また、優勝した第八分団の池田定市分団長は、「ポンプ操法大会5年連続優勝は分団長名利

に尽きると同時に、選手は勿論の事、団員全員に感謝しております。ここ数年各分団からの問合せも毎年少しずつ多くなり、江戸川消防団のレベルアップに多少なりとも、貢献出来たものと自負しております。今年には都大会出場の特権を得ましたので、各選手一人ひとりが江戸川消防団の代表という強い意志と



信念を持ち、訓練に励むとともに、署、団本部をはじめ、各分団の激励、協力に感謝を忘れることなく、「練習は嘘をつかない」と言っ言葉信じ十一月一日の都大会に臨んでもらいたいと思います。」とのコメントを述べております。

各分団練習場所

- 第一分団 小松川3丁目路上
- 第二分団 ライオン工場敷地
- 第三分団 松江二中わき路上
- 第四分団 中央3丁目の路上
- 第五分団 江戸川清掃工場
- 第六分団 江戸川清掃工場
- 第七分団 江戸川清掃工場
- 第八分団 江戸川清掃工場
- 第九分団 松江四中わき路上
- 第十分団 江戸川競艇場敷地

江戸川区総合防災訓練

七月二十四日(木)猛暑の中、篠崎町の江戸川河川敷において江戸川区総合防災訓練が行われました。江戸川、小岩、葛西、三消防団をはじめ各防災機関、関係団体一四〇〇名が動員され本番さながらの訓練が行われました。江戸川消防団では倒壊家屋からの救助救出訓練や延焼家屋の消火活動など日頃の訓練同様に迅速な行動で対応し、訓練成果を挙げる事が出来ました。また、訓練の見学に、区内の自治会、町会から多くの方がバスを連ねて来場し、災害時に於ける消防団活動を我が身の如く、真剣に見守っております。訓練の最後は消防署、消防団による一斉放水で終了いたしました。また江戸川消防団では今回、災害時に消防隊員が着用する、冷却ベストを防火着の下に着用し、消火活動団員は暑さ対策をしての訓練となりました。

平成19年度受賞者

- 瑞宝単光章 前第十分団部長 宇田川正夫
- 消防庁長官永年勤続功労章 団本部 分団長 中野 正弘

東京都知事消防褒賞

- 第二分団 分団長 一木 正明
- 第九分団 分団長 内山 敏夫
- 第三分団 副分団長 西山 政美
- 第六分団 副分団長 上野 春男

消防総監功績賞

- 第八分団 副分団長 村上 禎則
- 第八分団 副分団長 村井 光寿
- 第六分団 部長 八木 裕一

日本消防協会会長精績章

- 第六分団 部長 君和田英司

平成20年度行事予定

- 十月 合同点検
- 十一月 秋の火災予防運動
- 十二月 年末消防特別警戒
- 一月 団始式
- 三月 春の火災予防運動